

## 編集後記

1980年代以来のグローバル化が世界の姿を大きく変えて、私たちが日常に抱えてきた通念や常識はもとより社会科学上の理論や思想までもが根本的な見直しを迫られている。第3世界とか“南”という言い方で括られてきたアジア・アフリカ・ラテンアメリカについても例外ではない。研究の方法と対象、さらにはその呼称に至るまで再検討を余儀なくされているのである。おそらくそれは、半世紀以上にわたって培われてきた当研究所のいわばアイデンティティにも関わる事態であり、ここ数年、研究会や本誌の論考を通じて活発で真剣な議論がつけられている。去る5月に刊行されて『ラテンアメリカはどこへ行く』によって全巻が出揃った『グローバルサウスはいま・シリーズ』全5巻も、そうした模索の重要な一環として新しい時代の地域研究の礎となることが期待される。

本号の松下論文は、このようなグローバリゼーションの時代の社会変化を NAFTA のもとでのメキシコ社会にフォーカスして、新自由主義的グローバル化の凄まじいまでの破壊力と市民社会の再生の問題が検討されている。19世紀～20世紀初めとやや時代が遡るが、小澤論文は、中米・エルサルバドルにおける政府や知識人が提示した国民概念およびシンボルの特色とその変遷を論じている。中米という地域のきわめて特異な国民形成のあり方が示されて非常に興味深い。山中理事による書評は、世界的ベストセラーともいえるマイケル・L・ロス『石油の呪い』についての詳しい紹介と論評で、「書評論文」といえるほどに力のこもった力作である。加藤報告は、インドで開催された国際会議への参加記であるがベーシックインカムをめぐる議論の到達点や課題がコンパクトにして非常に分かりやすく書かれている。私の〈論潮〉は、脱中心の社会運動として韓国のろうそくデモとこれによって生まれた新政権の課題についての試論である。

NPO 法人としての本研究所の11回目の通常総会が去る7月1日に明治大学駿河台キャンパスで開催され、神戸大学大学院の太田和宏氏に新たに理事に加わっていただけることになった。太田新理事の今後のご活躍を期待する次第である。  
(2017/7/25 文 京洙)

### アジア・アフリカ研究

2017年 第57巻 第3号 (通巻425号)

2017年7月25日発行 機関購読料：年間15,000円

編集・発行人 文 京 洙

発行所 特定非営利活動法人  
アジア・アフリカ研究所

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10

Tel&Fax: 03 (3946) 1479

E-mail: aaken@bz01.plala.or.jp

URL: <http://www.aaij.or.jp/>

印刷所 三和印刷(株)  
長野県長野市川中島町1822-1

本誌上で各論考の著者がその責任において述べた意見は、特定非営利活動法人 (NPO 法人) アジア・アフリカ研究所としての見解を表すものではありません。

The articles in *Quarterly Bulletin of Third World Studies* do not represent the views of The NPO Corporation Afro-Asian Institute of Japan (AAIJ). Responsibility for opinions expressed in them rests with their authors.